

2022年度NACCS協議会

私たちは、お客様と共に歩み、
「人・物・国」をつなぐNACCSを通じて、
国際物流の発展に貢献します。

2023年2月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. 2022年度 プログラム変更内容に関するお知らせ/リリース済の変更案件
2. EDI仕様書の改訂について
3. NACCSトラフィックの増加とその対応について
4. NACCS利用料金の引下げについて
5. AIチャットボット、虎の巻、NACCS有料セミナーについて

1. 2022年度 プログラム変更内容に関するお知らせ /リリース済の変更案件

2023年2月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
システム運用部運用企画課

No	変更案件	影響のある主な業種									
		通関	保税	CY	船社	代理店 船舶	NVOCC	海貨	航社	航代	混載
1	パッケージソフトのundo／redo機能改善	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	「輸入申告事項登録（IDA）」業務における納期限延長品目と再輸出免税品目の同一輸入申告の可能化	○									

2023年3月にリリース予定です。
ぜひ、ご活用ください！



2022年度プログラム変更内容に関するご意見・ご質問等につきましては、下記のメールアドレスにご連絡ください。

✉ : pcr@naccs.jp

No	変更案件	影響のある主な業種									
		通関	保税	CA	船社	代理店 船舶	NVOCC	海貨	航社	航代	混載
3	「輸入貨物情報変更登録(CAI01)」業務における重量チェックの変更		○						○		○
4	「搬送指示情報登録 (PUO)」業務におけるNACCSパッケージソフトでの再送防止機能の追加		○								
5	搬出業務における搬出年月日チェックの変更	○	○	○			○	○	○		○
6	海上の蔵入承認手続きにおける到着確認の仕様変更		○	○							
7	「申告添付登録 (MSX)」業務における輸出許可内容変更申請の登録可能対象の仕様変更	○							○		○
8	「包括保税運送申告 (TDC)」業務における到着地欄の増加	○	○	○	○	○	○	○	○		○
9	「輸出許可内容変更申請事項登録 (EAA)」業務における「大額・少額識別」の変更可能化	○									

本ページの案件は、既にリリース済みです。
ぜひ、ご活用ください！



2022年度プログラム変更内容に関するご意見・ご質問等につきましては、下記のメールアドレスにご連絡ください。

✉ : pcr@naccs.jp

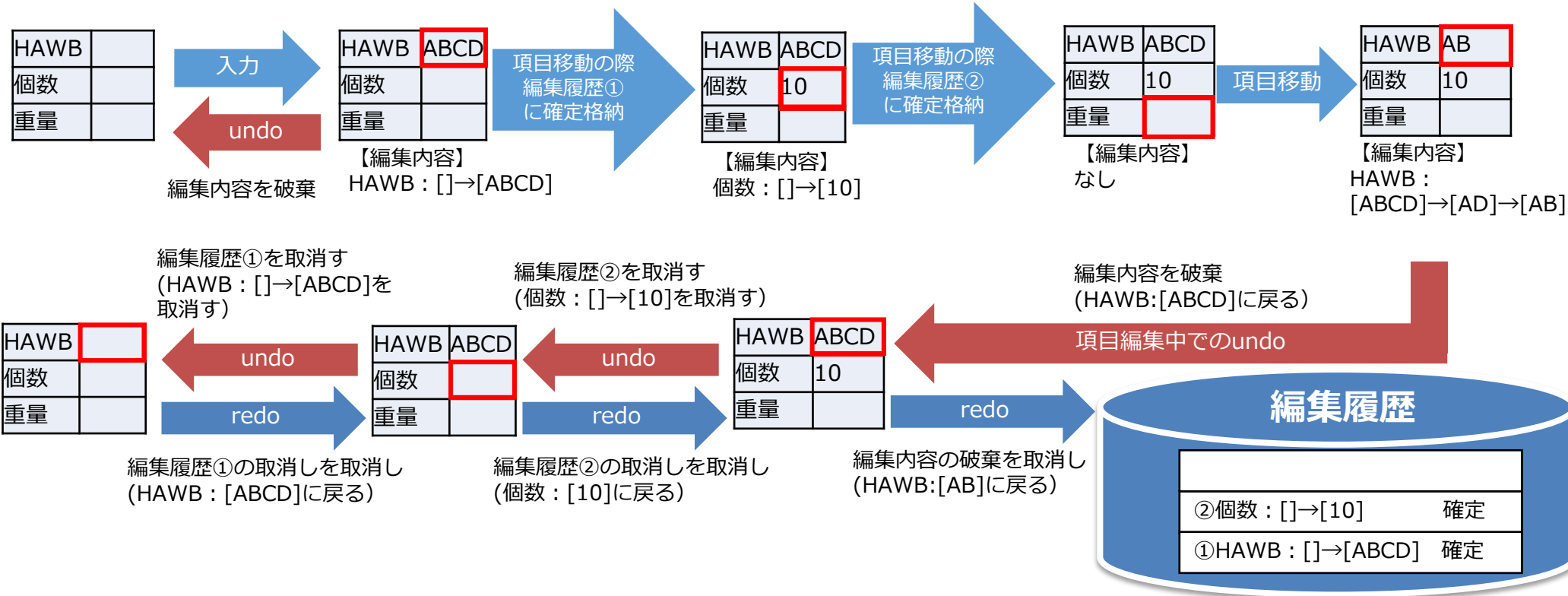
2023年3月28日リリース予定

【変更前仕様】

パッケージソフトにおいて、元に戻す(undo)機能は、1項目ごとに直前の編集履歴のみ保持しており、やり直し(redo)機能が存在していません。

【変更後仕様】

業務画面ごとに、編集履歴の保持を可能とし、複数項目をまたいで元に戻せるようにするとともに、複数項目をまたいだやり直し(redo)機能を新規追加します。



2023年3月19日リリース予定

【変更前仕様】

I D A 業務実施時に、納期限延長コードに「M：包括納期限延長個別納期限延長混在」を入力し、納期限延長品目と再輸出免税品目（関税減免税コードに17条免税のコードを入力）を同一申告とする場合、E0303エラー（納期限延長の包括延長個別延長混在であるが、内国消費税等減免税コードに要担保の免税コードが入力された）が出力され、業務実施できません。

【変更後仕様】

納期限延長品目と再輸出免税品目を同一申告で、実施可能となるように変更します。

納期限延長コードが「M」の場合に利用可能な、関税減免税コード及び内国消費税等減免税コードに入力する17条免税の新規コード（担保を要さない免税において使用）を追加します。また、I D A 業務等で実施しているE0303エラーチェック処理を削除します。

※「石油製品等移出（総保出）輸入申告事項登録（MWA）」業務及び「石油製品等移出（総保出）輸入申告変更事項登録（MWA 0 1）」業務も I D A 業務と同様の変更を行います。

2022年9月22日リリース済

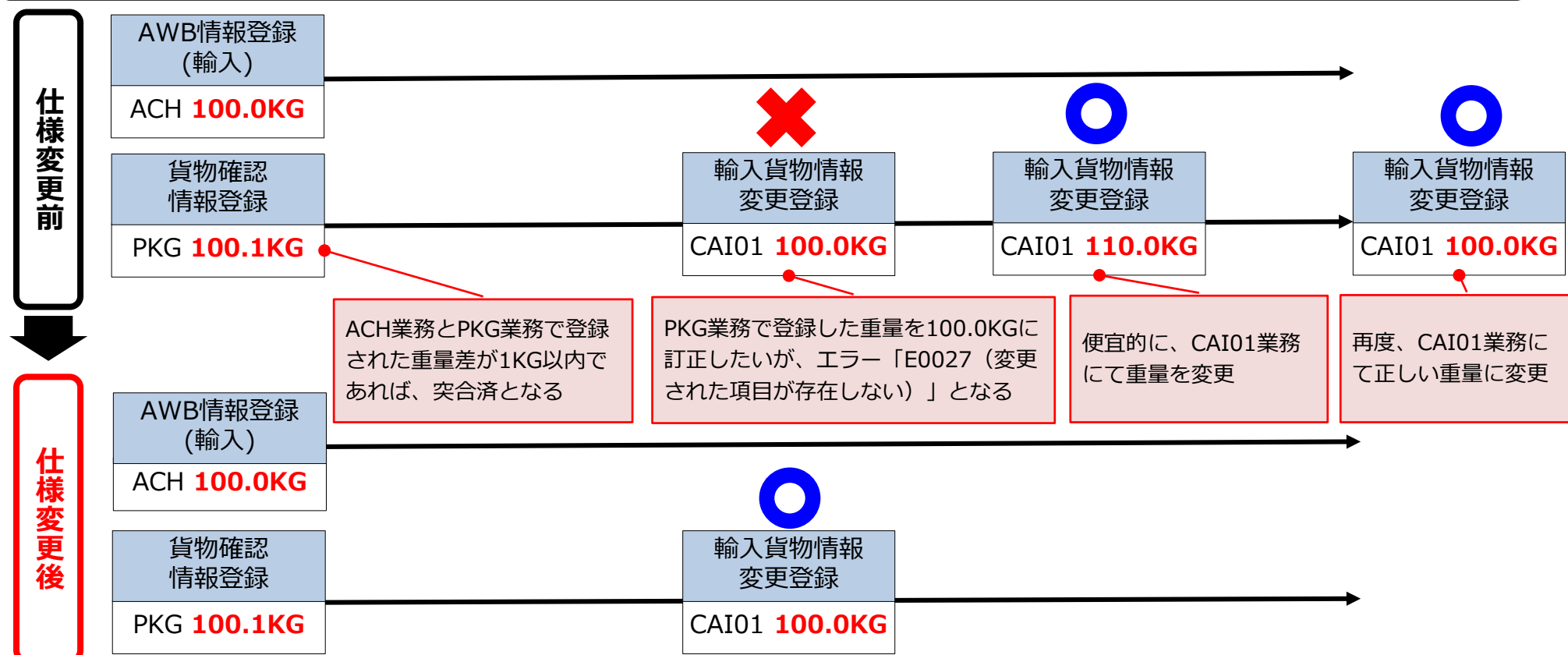
【変更前仕様】

特定の条件下※において、「貨物確認情報登録（PKG）」業務で登録した重量を「AWB情報登録(輸入)（ACH）」業務で登録した重量と同じ値に訂正する場合、エラーとなっていました。

※「ACH業務」と「貨物確認情報登録（PKG）業務」で登録した重量に差分がある状態で、突合済の貨物

【変更後仕様】

上記の場合であっても、訂正できるように変更しました。



2022年9月22日リリース済

【変更前仕様】

パッケージソフトで「搬送指示情報登録（PUO）」業務を送信後、業務メッセージ欄に「COMPLETION」が出て正常終了した場合であっても、再送可能になっていたため、「送信ボタン」もしくは「F12」キーにて容易に再送できていました。

【変更後仕様】

PUO業務送信後に正常終了した場合は、パッケージソフトの「再送防止機能」により、再送を防止できるように変更しました。

A WB 番号	個数	検
1		
1		
1		

【再送防止機能】

特定業務において、パッケージソフトで連続して送信することを防ぐための機能。

業務画面右下に「再送防止」と表示されている場合は、「送信」ボタンもしくは「F12」キーで、再度送信することはできない。
再送したい場合は、「再送防止」を右クリックして、再送防止を解除することができる。

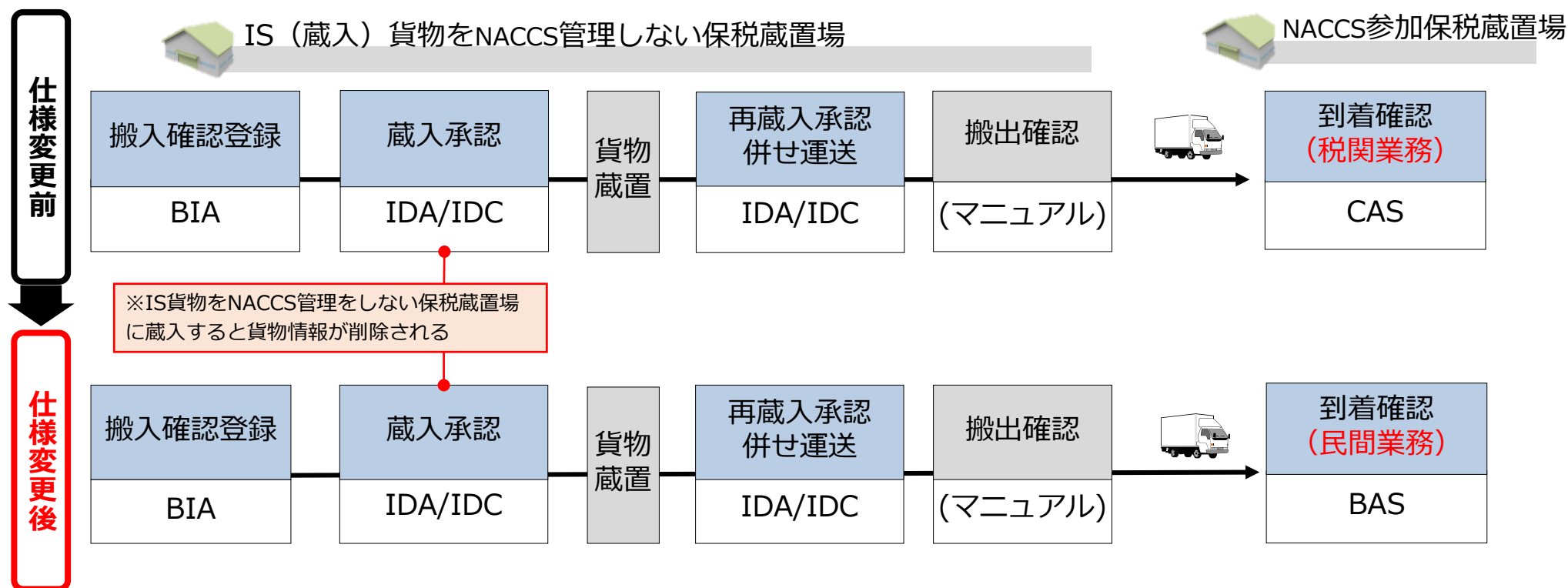
2022年11月20日リリース済

【変更前仕様】

海上貨物において併せ運送兼用の蔵入等承認貨物に係る到着確認は、貨物情報が存在しない場合、税関に「蔵入・移入・総保入・展示貨物到着確認（CAS）」業務を依頼し到着確認を行っていました。

【変更後仕様】

海上貨物についても航空貨物と同様に「蔵入等貨物搬入確認（BAS）」業務による蔵入承認併せ運送に係る到着確認を民間利用者で実施できるように変更しました。



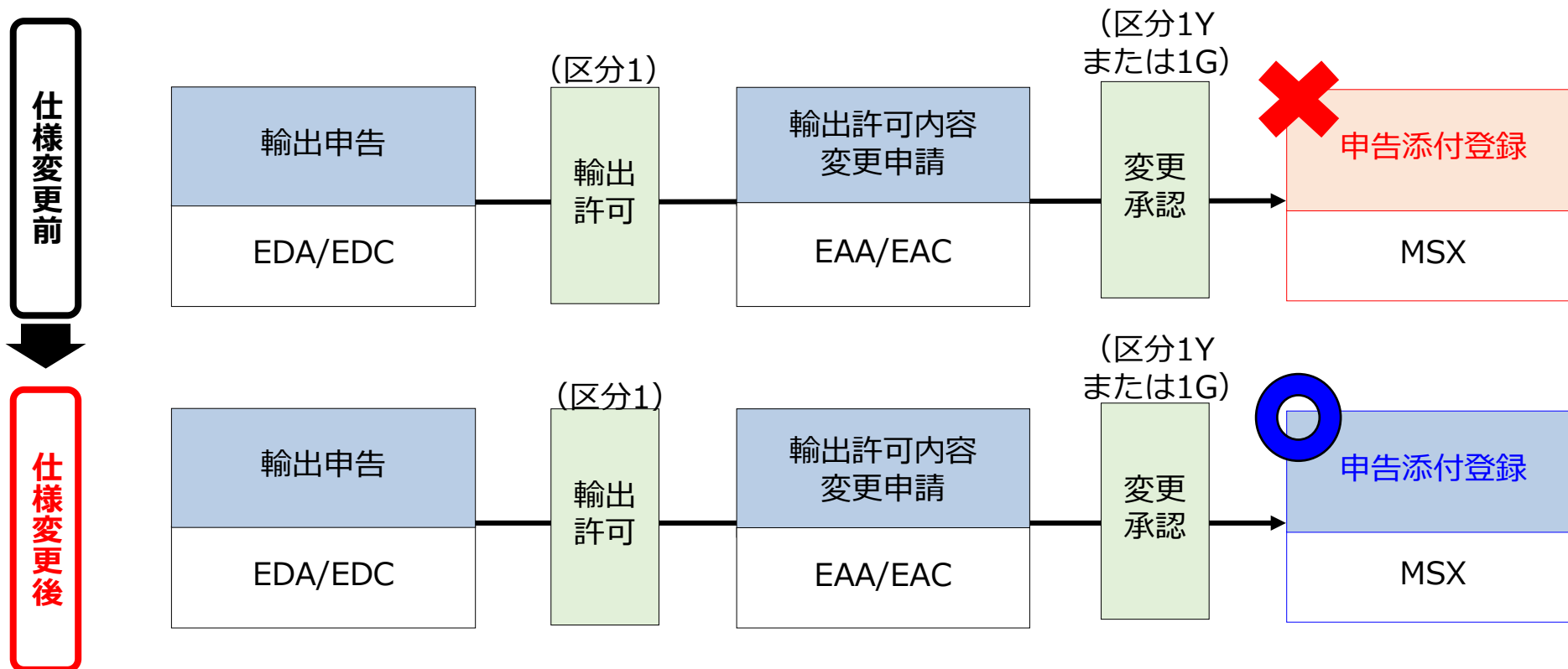
2022年11月20日リリース済

【変更前仕様】

輸出許可内容変更承認後に審査区分が「1Y」または「1G」となった場合、「申告添付登録（MSX）」業務で書類を提出することができず、税関窓口で書類を提出する必要がありました。

【変更後仕様】

輸出許可内容変更承認後に審査区分が「1Y」または「1G」となった場合でも、MSX業務で書類の提出ができるように変更しました。
※「1G」においては、引き続き原本提出も必要です。



2022年11月20日リリース済

【変更前仕様】

「包括保税運送申告（TDC）」業務の到着地コードは、1申告につき5箇所までしか入力できませんでした。

【変更後仕様】

「包括保税運送申告（TDC）」業務の到着地コードを、1申告につき30箇所まで入力できるように変更しました。

TDC 包括保税運送申告

ファイル(F) 表示(V)

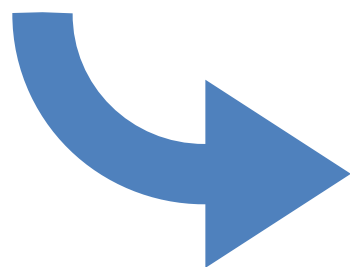
包括保税運送申告番号

承認期間 / / から / /

月間予想件数* 運送種別

発送地

到着地 1 2 3 4 5



TDC 包括保税運送申告

ファイル(F) 表示(V)

包括保税運送申告番号

承認期間 / / から / /

月間予想件数* 運送種別

発送地

到着地	1		2		3		4		5	
	6		7		8		9		10	
	11		12		13		14		15	
	16		17		18		19		20	
	21		22		23		24		25	
	26		27		28		29		30	

2022年11月20日リリース済

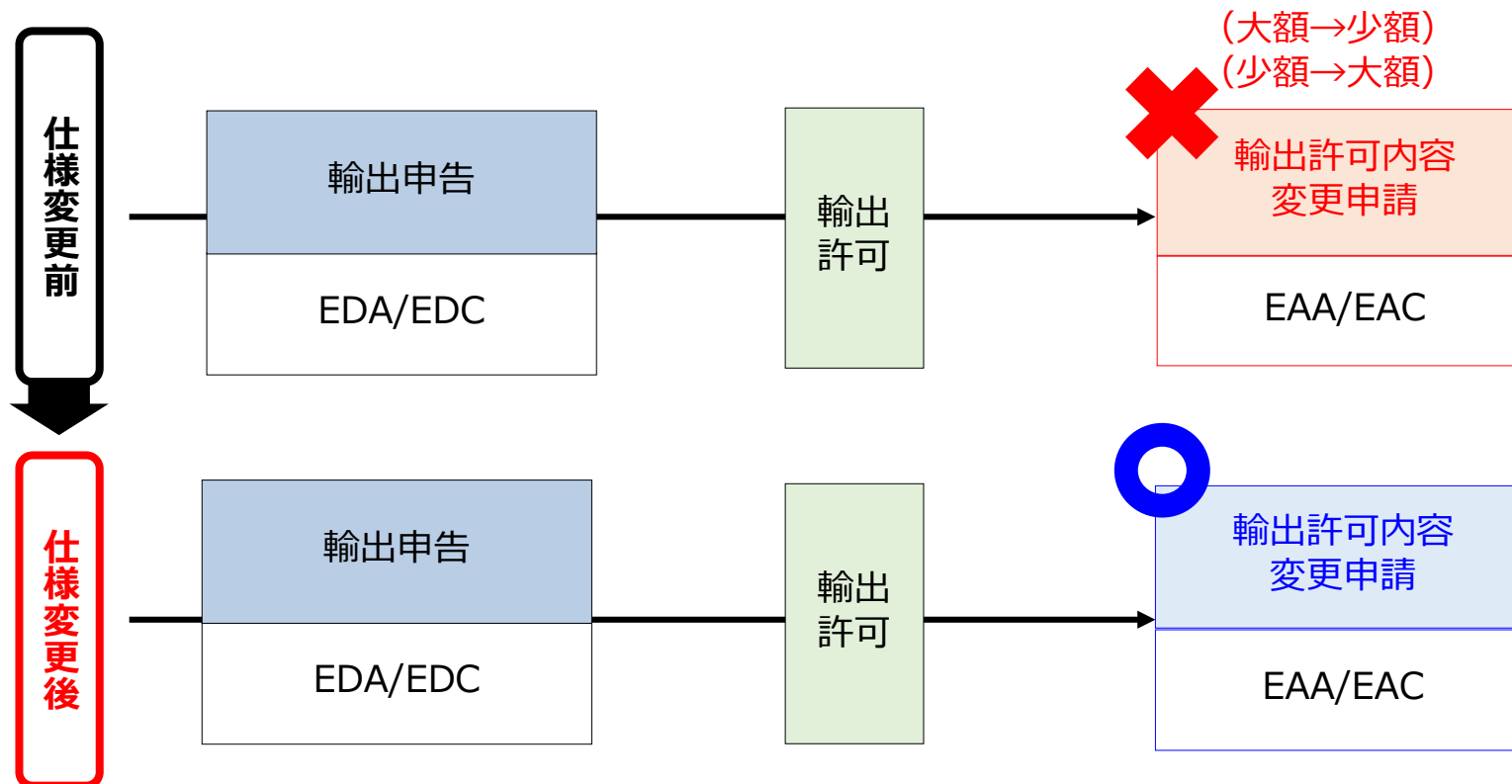
【変更前仕様】

「輸出許可内容変更申請事項登録（EAA）」業務において「大額・少額識別」を変更することができず、輸出許可後にシステムで「大額・少額識別」を変更する場合は、輸出取止め再輸入の許可を受けた上で改めて輸出申告等を行う必要がありました。

【変更後仕様】

「輸出許可内容変更申請事項登録（EAA）」業務において、「大額・少額識別」の変更ができるように変更しました。

※数量等変更の場合のみ「大額・少額識別」の変更が可能です。船（機）名変更の場合は変更不可です。



2. EDI仕様書の改訂について

2023年2月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
システム運用部運用企画課

EDI仕様書の改訂に関するお知らせ（2023年4月1日実施予定）

（１）メール処理方式における設定値見直し（4.3 メール処理方式）

メール処理方式において、現在、NACCSサーバとの無通信の許容時間を「１時間」と規定しておりますが、サーバの負荷軽減のため、「２分」に変更致します。（システム上の**設定変更を2023年4月**に実施予定）

（２）添付ファイル名の長さ上限に係る規定の追加（4.6 その他）

NACCSで処理可能な添付ファイル名の長さについては、190バイト以内となっていることから、これを明記します。なお、個別業務で190バイト未満の制限が課されている場合は、当該制限が適用されます。（添付ファイル名の長さチェックと190バイトを超えた場合の新規共通エラー（A0040）の返却処理を追加する**プログラム変更を2023年5月**に実施予定）

（３）NACCSの在宅利用等

昨今のお客様の勤務形態の変化（在宅勤務、サテライトオフィス勤務等）を受け、リモート接続に関する要件の再整理等、所要の見直しを実施します。

（主な修正内容については次ページ以降参照）

（４）その他

6次NACCS更改以降の改訂履歴作成、回線メニューの改廃対応等、所要の見直しを実施します。

- (1)メール処理方式における設定値見直しおよび(2)添付ファイル名の長さ上限に係る規定の追加 については、**2022年10月31日にNACCS掲示板**
(<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/docs/2022102600030/> (EDI仕様書の改訂について))にて詳細をご案内しております。

(3)NACCSの在宅利用等および(4)その他に記載の内容についても、今後、変更内容が確定次第、**NACCS掲示板にてご案内**いたします。

EDI仕様書の変更に関するご意見・ご質問等につきましては、右記メールアドレスにご連絡ください。 : edi-revise@naccs.jp

EDI仕様書の改訂に関するお知らせ（2023年4月1日実施予定）

（参考）NACCSの在宅利用等に係る主な修正内容

NACCSでは、2020年3月9日に「新型コロナウイルス感染症対策に係るNACCSの在宅利用等について」として、netNACCS等の在宅利用を認めることとしておりますが、EDI仕様書上、自社システム（ゲートウェイ接続）を利用した通関業務について、特殊な規定が残っており、また、リモート接続についてEDI仕様書の記載が曖昧であるとのご意見を頂戴しておりました。

昨今のお客様の勤務形態の変化（在宅勤務、サテライトオフィス勤務等）を受け、税関等関係行政機関が認めている在宅勤務等が、EDI仕様上の制限によって妨げられることがないように、下記①②の禁止規定の変更（削除）を予定しています。

- ① 通関業務実施端末の動的IP変換の禁止（2.2.8 IP アドレス変換について）
- ② NACCS業務端末に対するリモートアクセスの原則禁止（7.4.2 社外ネットワークとの接続に関するセキュリティ基準）

（現在）

2.2.8 IP アドレス変換について

（2）ゲートウェイコンピュータにおける IP アドレス変換

ゲートウェイ接続におけるゲートウェイコンピュータで IP アドレス変換を行うことは問題ない。

ただし、セキュリティ対策等の観点から、利用者はゲートウェイコンピュータで送受信した電文の内容の履歴（ログ）を取り、1年間保存しなければならない。また、ゲートウェイコンピュータ配下のパソコンで通関業務を行う場合、当該 IP アドレス変換は、固定的な IP アドレスから固定的な IP アドレスへの変換でなければならない。よって、DHCP サーバのように動的に IP アドレスを当該パソコンに割り当てることは禁止する。

なお、DHCP サーバを使用した IP アドレスの割り当てにおいて、利用者コンピュータのMAC アドレスに対して静的に IP アドレスを割り当てる場合はこの限りではなく、DHCP サーバにより IP アドレスの割り当てを可能とする

（変更案）

2.2.8 IP アドレス変換について

（2）ゲートウェイコンピュータにおける IP アドレス変換

ゲートウェイ接続におけるゲートウェイコンピュータで IP アドレス変換を行うことは問題ない。

ただし、セキュリティ対策等の観点から、利用者はゲートウェイコンピュータで送受信した電文の内容の履歴（ログ）を取り、1年間保存しなければならない。

（現在）

7.4.2 社外ネットワークとの接続に関するセキュリティ基準

(2) NACCS 接続ルータを使わないで社外ネットワークと接続する場合の制限

② 社外ネットワークとの接続がリモート接続の場合

社外ネットワークとの接続がある場合は、全て NACCS センターのセキュリティ対策の審査 を受ける必要がある。

イ. NACCS 業務用コンピュータと、社外ネットワーク（他社ネットワーク、インターネット等）をモデム、TA（DSU）等を用いてリモート接続することを、原則として禁止する。

ロ. NACCS 業務用コンピュータ以外のコンピュータと社外ネットワーク（他社ネットワーク、インターネット等）を、モデム、TA（DSU）等を用いてリモート接続する場合、NACCS 業務用コンピュータには関係ない接続であるため、問題ない。

（変更案）

7.4.2 社外ネットワークとの接続に関するセキュリティ基準

(2) NACCS 接続ルータを使わないで社外ネットワークと接続する場合の制限

② 社外ネットワークとの接続がリモート接続の場合 （コンピュータとコンピュータの接続）

社外ネットワークとの接続がある場合は、全て NACCS センターのセキュリティ対策の審査 を受ける必要がある。

社外ネットワーク（他社ネットワーク、インターネット等）のコンピュータとのリモート接続が認められる例は、以下のとおり。

利用者側でVPN装置等を設置することにより、社内ネットワークのコンピュータと社外ネットワークのコンピュータ、および両コンピュータ間のネットワークに第三者からアクセスできない仕組みが施されている場合。（リモート接続する社外ネットワークのコンピュータにも社内ネットワークのコンピュータに準じたセキュリティ対策を実施すること。）

上記変更の他、(1)～(4)に記載の内容を変更する予定としております。

変更予定日及び内容は都合により、変更となる場合があります。変更となった場合は、NACCS掲示板にてお知らせ致します。

3. NACCSトラフィックの増加とその対応について

2023年2月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
システム運用部運用企画課

○概要

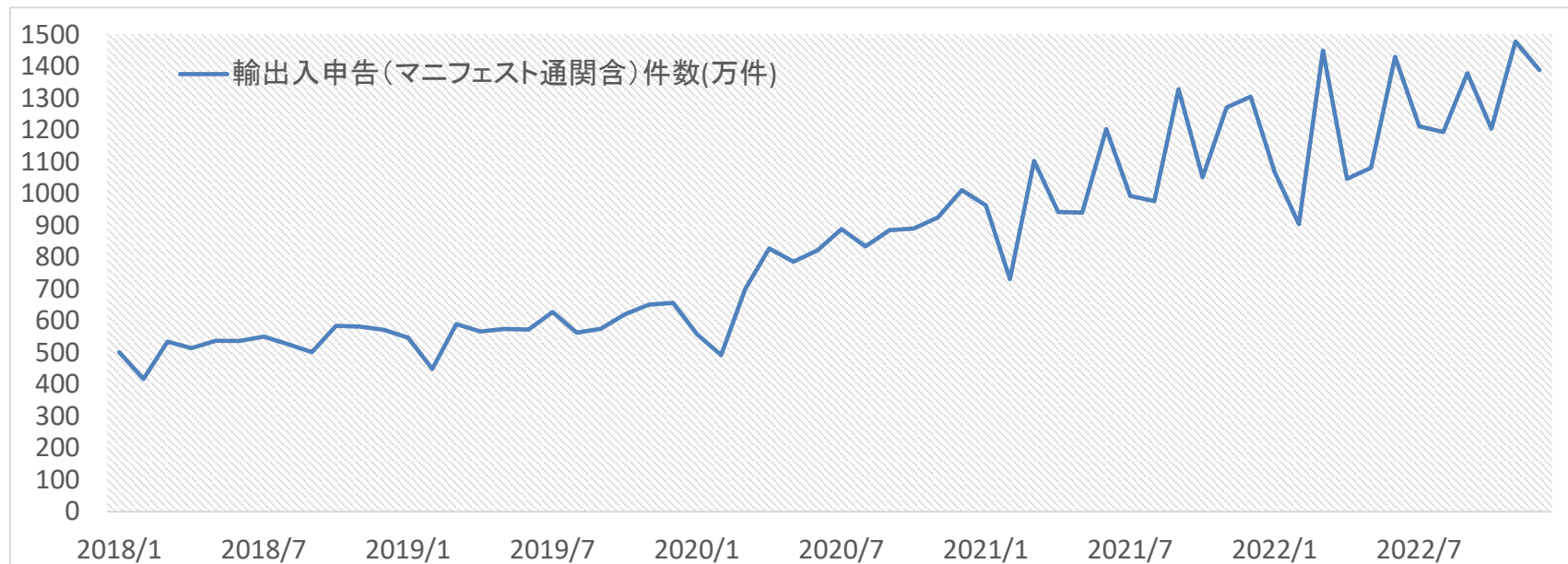
昨今の貨物量の増加に伴うNACCSへのトラフィック増加（集中）の影響により、一部業務の多数件処理（※）において処理時間の増大が発生しています。例えば、貨物搬入確認登録後の輸入申告の自動起動に1時間以上要する場合があります、輸入貨物の保税蔵置場からの搬出手続きができないなど、実態物流にも影響を及ぼす状況となっています。

（※）多数件処理には、他の業務や特定の時刻を契機としてNACCSにおいて自動的に起動する業務と情報量が膨大な申請をNACCSで効率的に処理するために細分化して起動する業務の2種類があります。

（参考1）遅延が生じている主な業務

- ・ IDC（輸入申告）（予備申告の場合）
- ・ MIC（輸入マニフェスト通関申告）（予備申告の場合）

（参考2）輸出入申告（マニフェスト通関含）トラフィックの推移



○対応

弊社においても、トラフィック集中により遅延が発生する頻度が高くなっている状況は重大な問題であると認識しており、業務処理の遅延事象解消のため、多数件処理に使用するサーバーリソースの追加等の対応を2023年5月に実施する予定でしたが、貨物量の増加とそれに伴うNACCSトラフィック増加によるNACCSの処理遅延に対応するため、前倒し可能なものは可能な限り前倒し、以下の対応を実施いたします。

（１）輸出申告に関する対策（2022年11月実施済）

輸出申告における処理遅延に対応するため、サーバーの設定をチューニングする改善を実施しました。これにより、搬入時自動起動の輸出申告の処理遅延に改善が見られています。

（２）輸入申告及び輸入マニフェスト通関申告に関する対策

① 2023年 1 月実施済

輸入申告及び輸入マニフェスト通関申告における処理遅延に対応するため、サーバーの設定をチューニングする改善を実施しました。これにより、大量のトラフィックを発生させていないお客様の遅延状況に改善が見られています。

② 2023年 3 月実施予定

サーバーリソースの追加と更なる設定のチューニングを検討しています。これによって、輸入申告及び輸入マニフェスト通関申告に加え、それ以外で多数件処理が遅延しがちなものについても状況が改善されるものと期待しています。

（３）全般的対策（2023年 5 月実施予定）

輸入申告及び輸入マニフェスト通関申告において、担保に関する情報等の資源競合が生じないものを並行処理可能とするプログラム変更及びサーバーリソースの更なる追加を実施する予定です。これによって、輸入申告及び輸入マニフェスト通関申告の遅延状況が更に改善されるものと期待しています。

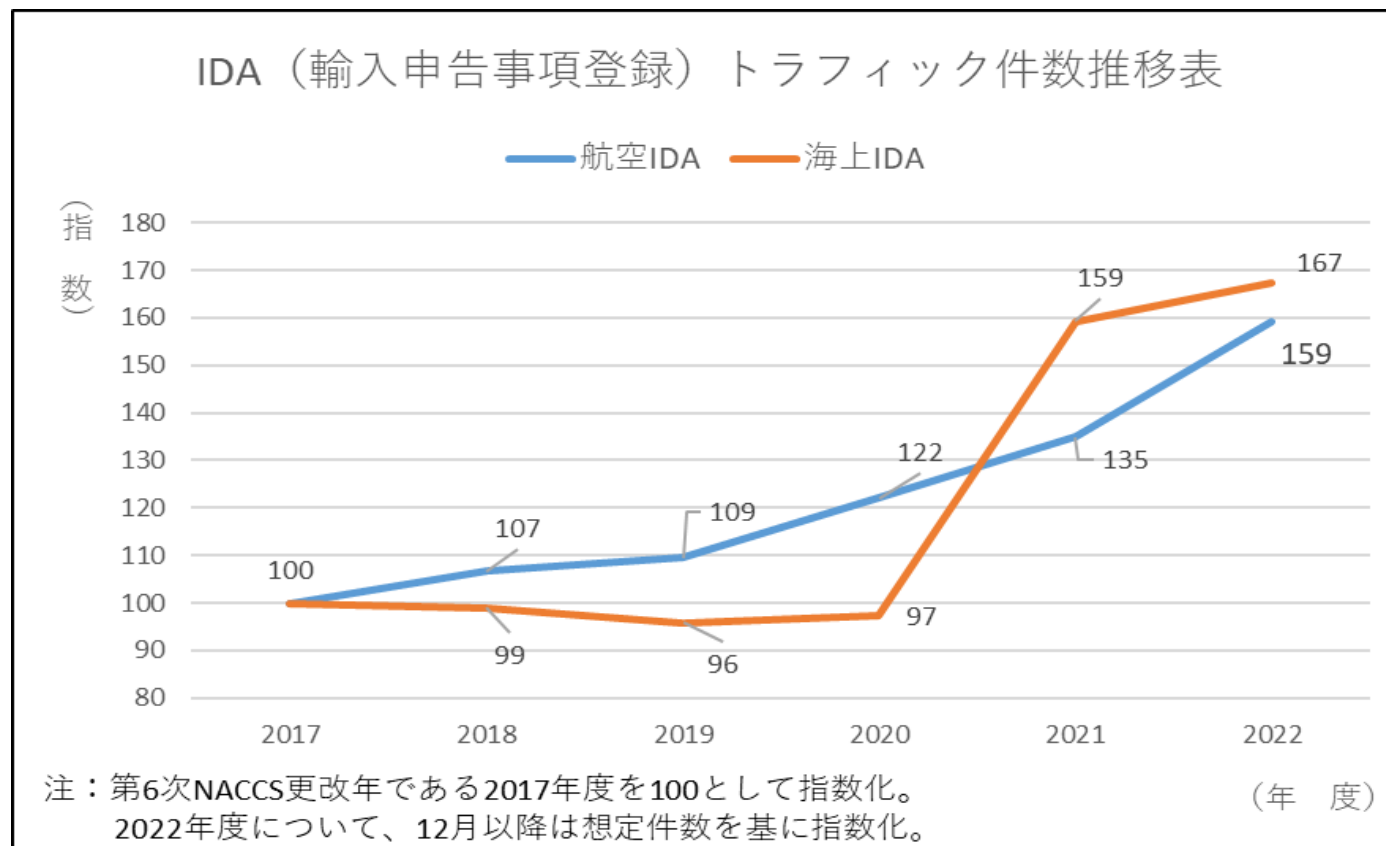
これらの対応を実施した後も、NACCSの処理状況を注視し、必要に応じ追加対策の実施を検討します。

4. NACCS利用料金の引下げについて

2023年2月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
経営企画部経営企画課

- 現在、越境ECの伸張により、輸入申告が大きく増加しており、特に海上貨物については近年小口貨物の取扱いが大きく伸びている状況にあります。



- これに伴い、当社の民間利用料金収入も好調に推移しているため、NACCS法第10条の規定※に鑑み、利用料金の引下げを検討しております。

※（会社の責務）

第十条 会社は、前条第一項の業務を営むに当たっては、（略）電子情報処理組織による輸出入等関連業務の処理が、（略）なるべく安い料金で行われるように努めなければならない。

- 2023年4月1日からの実施を予定しており、対象は当社の民間利用料金収入増加に寄与している海上・航空の輸入申告関係業務及び航空の保税関係業務を中心に検討しております。
- 利用料金引下げの具体的な対象業務及び金額については、次頁以降のとおりとなります。

➤ 利用料金引下げ対象業務及び金額

(単価(A)「基本料金＋従量料金」の場合)

業務名	区分 (海上・航空)	現在の金額	引下げ後の 金額(案)
修正申告事項登録 (AMA)	海上	25円	20円
一括搬入確認登録 (BIL01)	航空	13円	12円
搬入確認登録(システム対象内保税運送) (BIN01)	航空	13円	12円
混載貨物確認情報訂正 (CHP)	航空	13円	12円
機用品蔵入等承認申請事項登録 (CTA)	海上・航空	13円	12円
機用品蔵入等承認申請変更事項登録 (CTA01)	海上・航空	13円	12円
輸出許可内容変更申請事項登録 (EAA)	海上	21円	20円
※輸出申告(少額)、積戻し申告(少額)、展示等積戻し申告 に係る変更の場合を除く	航空	13円	12円

➤ 利用料金引下げ対象業務及び金額

業務名	区分 (海上・航空)	現在の金額	引下げ後の 金額(案)
輸出申告事項登録 (EDA) ※輸出申告(少額)、積戻し申告(少額)、展示等積戻し申告 に係る登録の場合を除く	海上	21円	20円
	航空	13円	12円
輸出申告変更事項登録 (EDA01) ※輸出申告(少額)、積戻し申告(少額)、展示等積戻し申告 に係る変更の場合を除く	海上	21円	20円
	航空	13円	12円
混載貨物確認情報登録 (HPK)	航空	13円	12円
輸入申告事項登録 (IDA) ※輸入(引取)申告に係る登録の場合を除く	海上	25円	20円
	航空	13円	12円
輸入申告変更事項登録 (IDA01) ※輸入(引取)申告、特例申告に係る変更の場合を除く	海上	25円	20円
	航空	13円	12円

➤ 利用料金引下げ対象業務及び金額

業務名	区分 (海上・航空)	現在の金額	引下げ後の 金額(案)
関税等更正請求事項登録 (KKA)	海上	25円	20円
石油製品等移出(総保出)輸入申告事項登録 (MWA)	海上	25円	20円
	航空	13円	12円
石油製品等移出(総保出)輸入申告変更事項 登録 (MWA01)	海上	25円	20円
	航空	13円	12円
搬出確認登録(一般) (OUT)	航空	13円	12円
シングルウィンドウ輸入申告事項登録 (SWA)	海上	25円	20円
	航空	13円	12円

➤ 利用料金引下げ対象業務及び金額

(単価(B)「従量料金のみ」の場合)

業務名	区分 (海上・航空)	現在の金額	引下げ後の 金額(案)
修正申告事項登録 (AMA)	海上	30円	24円
一括搬入確認登録 (BIL01)	航空	15円	14円
搬入確認登録(システム対象内保税運送) (BIN01)	航空	15円	14円
混載貨物確認情報訂正 (CHP)	航空	15円	14円
機用品蔵入等承認申請事項登録 (CTA)	海上・航空	15円	14円
機用品蔵入等承認申請変更事項登録 (CTA01)	海上・航空	15円	14円
輸出許可内容変更申請事項登録 (EAA)	海上	25円	24円
※輸出申告(少額)、積戻し申告(少額)、展示等積戻し申告 に係る変更の場合を除く	航空	15円	14円

➤ 利用料金引下げ対象業務及び金額

業務名	区分 (海上・航空)	現在の金額	引下げ後の 金額(案)
輸出申告事項登録 (EDA) ※輸出申告(少額)、積戻し申告(少額)、展示等積戻し申告 に係る登録の場合を除く	海上	25円	24円
	航空	15円	14円
輸出申告変更事項登録 (EDA01) ※輸出申告(少額)、積戻し申告(少額)、展示等積戻し申告 に係る変更の場合を除く	海上	25円	24円
	航空	15円	14円
混載貨物確認情報登録 (HPK)	航空	15円	14円
輸入申告事項登録 (IDA) ※輸入(引取)申告に係る登録の場合を除く	海上	30円	24円
	航空	15円	14円
輸入申告変更事項登録 (IDA01) ※輸入(引取)申告、特例申告に係る変更の場合を除く	海上	30円	24円
	航空	15円	14円

➤ 利用料金引下げ対象業務及び金額

業務名	区分 (海上・航空)	現在の金額	引下げ後の 金額(案)
関税等更正請求事項登録 (KKA)	海上	30円	24円
石油製品等移出(総保出)輸入申告事項登録 (MWA)	海上	30円	24円
	航空	15円	14円
石油製品等移出(総保出)輸入申告変更事項 登録 (MWA01)	海上	30円	24円
	航空	15円	14円
搬出確認登録(一般) (OUT)	航空	15円	14円
シングルウィンドウ輸入申告事項登録 (SWA)	海上	30円	24円
	航空	15円	14円

➤ 2023年1月には、NACCS掲示板上で、お客様からのご意見を募集しました。そこで得られたご意見を踏まえつつ、引き続き監督当局と協議を進めて参ります。

➤ スケジュール

2023年1月13日～31日

2023年2月中

2023年3月

2023年4月1日

お客様のご意見を募集(終了)

お客様からのご意見に対して

NACCS掲示板上で回答

財務大臣の認可を取得

新利用料金の適用

5. AIチャットボット、虎の巻、NACCS有料セミナーについて

2023年2月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
カスタマーサポート部サポート課

(1) AIチャットボットについて

- ・NSS（NACCSサポートシステム）でのお申込みに関してのご案内
- ・IDA（輸入申告事項登録）のエラーコードについての解決策のご案内
- ・EDA（輸出申告事項登録）のエラーコードについての解決策のご案内

NEW!!

チャットボット

IDA, EDAエラー解決
& 利用申し込みサポートチャット

● NACCS自動応答サポート

↑過去の会話履歴を表示

こんにちは！
ご質問内容を以下から選択するか、ご入力ください。
こちらのチャットボットは、【利用申込関係】【IDAエラー解決】【EDAエラー解決】に対応しています。

10:23

パスワードがわからなくなった

パッケージソフトについて知りたい

デジタル証明書について知りたい

★IDAにて「E0091」
★IDAにて「E0006」
★EDAにて「E0072」
★IDAにて「E0002」
★IDAにて「E0010」

入力欄に
エラーコードを入力

E00



13:46 ★IDAにて「E0006」

積出港コード及び積出地名を確認し、再入力してください。

①コード化されていない積出地コードの場合、積出地名を入力します。

②業務コード集を確認してください。
[NACCS揭示板](#) | [業務コード集](#) | [NACCS業務関連コード](#)
[29 国連LOCODE](#)・[IATAコード](#)（国名コード含む）

③郵便物の場合、貨物情報は不要です。当該貨物情報は税関に削除依頼を行ってください。

NEW!!

フリーワード検索が
可能になりました！

IDA E0006、デジタル証明書 など 知りたいことを入力



※NACCS揭示板トップページの
画面右下に表示されます。

(2) 虎の巻シリーズについて

- ・第1弾：バンニングマスター
- ・第2弾：FAINSマスター
- ・第3弾：海上仕分けマスター

好評掲載中！！

虎の巻シリーズ バンニングマスター

虎の巻 ～バンニングマスター～

お問い合わせの多いランキングからトピックを選び、自主解決の参考になる情報を「虎の巻シリーズ」として、フロー等と共に今後掲載していきます。第1弾として、～バンニングマスター～を作成しました。
バン登録やバン情報の訂正をおこなう皆様、是非ご参考になさってください！！

[照会業務のツボ](#) [ヘジャンプ](#) [バンニング系よくある問合せ](#) [ヘジャンプ](#)

●バンニングに関係する業務コードはこちら！業務コードをクリックで入力例が開きます。

VAN	VAE	VAA	VAC	VAD	CYA	CYC	CCX
バンニングした旨をコンテナ単位に登録します。	バンニングした旨を輸出管理番号(BL)単位に登録します。	バンニング業務で登録した内容に、輸出管理番号(BL)の追加を行います。	バンニング登録を取消します。	コンテナ情報及び貨物情報についての訂正を行います。	コンテナをCYへ搬入した旨に登録します。	CYA業務で登録した内容の訂正及び取消を行います。	コンテナヤードでの搬出申請で、後発になった場合のリリース登録はCCX業務で行います。
呼出し業務：VAN11	呼出し業務：VAE11	呼出し業務：VAA11	呼出し業務：なし	呼出し業務：VAD11	呼出し業務：なし	呼出し業務：CYC11	呼出し業務：なし

●呼び出し業務とは・・・登録済の情報が反映された状態で入力が始められる便利機能です！

●基本フローとバンニングの訂正方法をまとめました。通関のパターンのタブから確認ください。

[保税蔵置場で通関する](#) [CYで通関する](#)

●申告後の訂正など税関運用が関係するものは、業務送信前に税関相談が必要です。
●バンニング情報の訂正を行う場合、貨物情報や申告情報の訂正も必要になることもあります。企業間で連携を取りながら業務を行ってください。

保税蔵置場で通関するパターンフローとバンニング業務の訂正方法

上段：VAN/VAE入力項目及び項目の訂正方法

下段：入力(訂正)者

搬入	輸出許可	バンニング ※VAN/VAE	CY搬入 ※CYA	船積 ※CLR
バンニング後CY搬入前までの訂正			CY搬入後船積前までの訂正	
コンテナ自集	VAD	VAC→VAN/VAE	訂正不可	
VAN/VAEをした人			VAN/VAEをした人	

・バンニング関連資料が
ずらり！

・誰が？いつ？どのように
訂正するのか？
まとめています！

(3) NACCS有料セミナーについて

- ・ 海上輸出入通関手続き (2022年5月開始)
- ・ 航空輸出入通関手続き (2022年12月開始)

◆ NACCS有料セミナーとは

- ・ 当セミナーは、**輸出入通関手続きを学ぶ講座**です。
- ・ 通関業務の経験が浅い1年目から3年目までの初任従業者を対象としております。
- ・ NACCS業務に精通した弊社社員が責任をもって対応いたしますので、受講することによりNACCSを用いた業務の習熟度や知識を増やすことができます。

◆ セミナーの講座内容

【座学で学んでいただきます】

- ・ 輸出入取引の概要
- ・ 輸出入業務の概要

【NACCSを操作します】

- ・ 輸出入申告業務

【その他】

- ・ NACCS掲示板の利用方法
- ・ NACCSの便利機能

◆ セミナーの特徴



高い習熟度が期待されます！

実機操作にて**本番に近い環境**で学んでいただきますので、受講後はNACCSにおける業務及び端末操作の理解が深まります。



充実度の高い内容です！

少人数制に加え、NACCS業務に精通した弊社社員の**対面サポート体制**が整っております。



NACCSだから提供できる有益な情報！

業務エラーの対処方法、イレギュラー事例紹介等を実機を用いて行います。

◆ カリキュラム

科目	海上輸出入通関手続き	航空輸出入通関手続き
輸出通関手続		
1. 輸出取引の概要 (10分)	・ 輸出手続きの流れ ① 契約段階 取引先探し、信用調査、契約締結 ② 輸送段階 船腹予約、貨物搬入/通関/貨物搬出、船積み ③ 決済段階 船荷証券入手、決済	・ 輸出手続きの流れ ① 契約段階 取引先探し、信用調査、契約締結 ② 輸送段階 貨物搬入、混載仕立/通関/貨物搬出、搭載 ③ 決済段階 航空貨物運送状入手、決済
2. 輸出業務の概要 (10分)	・ 輸出貨物の流れ 貨物の集荷から船積みまで (NACCS業務に係る関税法等の法的根拠の説明を含む)	・ 輸出貨物の流れ 貨物の集荷から搭載まで (NACCS業務に係る関税法等の法的根拠の説明を含む)
3. 輸出申告業務 (100分)	・ 輸出申告業務の実機操作 EDB→EDA→EDC業務を実機にて操作を行う。 前後の業務は事前に登録したデータを用いて行う。 ・ 輸出申告のポイントの説明 よくある問合せ、エラーの対処方法	

お客様の声

書類を見ながら実際にNACCSで入力できたので、申告業務を理解することができました！

説明が丁寧で、未経験でもしっかりサポートしてもらえるので、ちゃんと入力できました！

今まで知らないままだった内容や、便利機能を知ることができて良かったです！

遠方に住んでいるので、東京以外の別の地域でも開催してください！



今後、他の地域での開催も検討中

AIチャットボット、虎の巻、NACCS有料セミナーについて

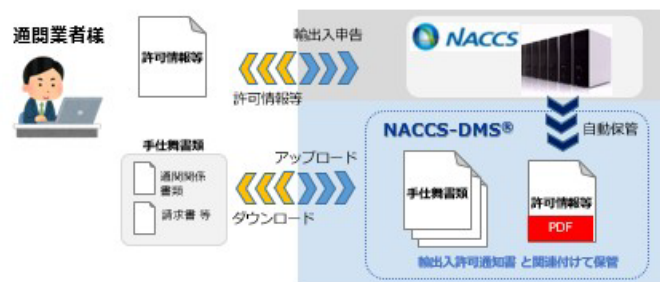


貿易関連書類電子保管業務

NACCS-DMS®

NACCS-DMS®は貿易関連書類を電子データで長期的に保管できるサービスです。

サービスイメージ



サービスの特徴

- ◆ 輸出入許可通知情報等を始めとする通関関係書類を、案件別にNACCSの中の電子保管領域にて電子的に管理し長期保管することができます。
- ◆ 強固なセキュリティ・確実なバックアップ環境を有するNACCSの中に保管するため、重要な営業秘密である情報を安心してお預けいただけます。企業全体の書類を保管できますので、複数利用事業所での保管・検索が可能となります。
- ◆ 本サービスを利用して、通関業務に関する書類を保管した場合は、通関業法上規程されている書類保存の義務を履行したことになります。
- ◆ 月額課金制によるサービス型でのご提供により、お客様のシステム資産のスリム化を実現します。



ご利用料金

料金プランは保管可能件数(輸出入許可件数及びお客様自身で登録される件数)を計算の基礎とします。

共同利用プラン

保管可能件数が2万件までのお客様向けのプランです。
日本通関業連合会経由での申込となり、日本通関業連合会が複数社をグループとして管理します。

保管可能件数	月額(税別)
0件以上 1千件未満	5千円
0件以上 3千件未満	1万円
0件以上 6千件未満	1.5万円
0件以上 1万件未満	2万円
0件以上 1.5万件未満	3万円
0件以上 2万件未満	4万円

ライトプラン

保管可能件数が2万件から4万件のお客様向けのプランです。

保管可能件数	月額(税別)
0件以上～4万件	5万円

スタンダードプラン

保管可能件数が4万件を超えるお客様向けのプランです。
利用開始から積上げで保管していき、各件数帯の保管件数の上限を超えた月から次のプランの料金が適用されます。請求する月額料金の決定にあたっては、当月中の最大値の保管件数を基準とし、その基準に設定された料金を請求いたします。

保管可能件数	月額(税別)
0件以上～15万件未満	7.5万円
15万件以上～16万件未満	9.5万円
16万件以上～17万件未満	11.5万円
17万件以上～18万件未満	13.5万円
18万件以上～30万件未満	15.5万円
30万件以上～31万件未満	19.5万円
31万件以上～32万件未満	23.5万円
32万件以上～33万件未満	27.5万円
33万件以上～66万件未満	30万円
67万件以上～	※

※67万件を超える件数を保管する場合には、ご相談ください

詳しくはNACCS掲示板をご覧ください



NACCS DMS

AIチャットボット、虎の巻、NACCS有料セミナーについて



業務状況等分析業務

輸出入申告訂正情報の分析サービス

通関業者の皆さまが輸出入申告訂正業務等の内容を客観的に把握できるサービスです。
「誰が」「どの輸出入申告等の」「どの項目を」「どのように訂正したか」

こんなお悩みありませんか？

- ✓ 管理部門にて誤謬の把握・分析ができていない
- ✓ 誤謬の報告漏れが生じてしまっている
- ✓ 誤謬がなかなか減らない



サービスの特徴



NACCSだからできる信頼あるデータの提供！

- ・NACCSで処理されたすべての輸出入申告等の訂正業務の内容を把握
- ・裁量による訂正内容の社内報告漏れの防止



管理部門による訂正履歴の把握・分析などの作業負担が軽減！

- ・提供形式がCSV形式のため、データ加工により訂正の原因分析が可能
- ・訂正の原因分析を行うことで、事業所、通関士毎の訂正傾向を把握



通関業務の品質の維持・向上や、社内教育へのサポート！

- ・再発防止策や業務手順、人員配置を含む社内体制の見直しの検討材料
- ・自己改善の取組みとして「生きた教材」を利用した社内教育への活用

サポートツール

	A	B	C	D	E	BJ	BK	BL	BM	BN	BO	BP
	輸入申告ファイル選択		輸出申告ファイル選択									
1	チェック		検索キー									
2	撤回等		当初申告時利用申告番号		航空・利用者ID	蔵書税関品貨物個数		個数単位=通関蔵書場通関蔵書場貨物重量		重量単位=		
11	予備申告	1TNAC	11827777770	2	1TNACA0A	6	2	PK	1FGGG	NACCS KY112	KGM	
12	予備申告	1TNAC	11827777771	2	1TNACA0A	6	2	CS	1FGGG	NACCS KY112	KGM	
13	予備申告	1TNAC	11827888880	2	1TNAC10F	4	103	CT	1F66M	IWANO-U1276.92	KGM	
14	予備申告	1TNAC	11827888881	2	1TNAC10F	4	103	CT	1F66M	IWANO-U1276.92	KGM	
15								PP	1FZZF	NACCS-O4562	KGM	
16								PK	1FZZF	NACCS-O4562	KGM	
17								PP	1FGGG	NACCS KY1975.8	KGM	
18								PP	1FGGG	NACCS KY1975.8	KGM	
19								PP	1FNNN	YAMA-NO511.8	KGM	
20								PP	1FNNN	YAMA-NO511.8	KGM	
21								CT	1APPP	NACCS-T1573.84	KGM	
22								CT	1APPP	NACCS-T1573.84	KGM	
23								1FTTT	INT-NACC1717	KGM		
24								1FTTT	INT-NACC1703	KGM		
25								1FWTT	SATO-UN732	KGM		
26								1FWTT	SATO-UN732	KGM		

- ・ 申告番号ごとに色分け
- ・ 訂正箇所には色付け
- ・ 上下で比較



検索キー				クリア	
利用者コード	通関士コード	輸入者名	許可等年月日	検索	
当初申告時利用通関士コード	輸入者名	許可等年月日	申告番号	撤回等	訂正1
1TNAC	ASS12	NACCS SYOUII CO.	20210426	11825033330 予備申告	入港年月日
11825033331 予備申告					個数単位コード
					記号番号
					20210419
					PP
					AS PER ATTACHE
					NAC CT NO1-2006
					3 通年月日
					税額合計
					税額合計
					10422
					41000
					191500
					40800
					190300
					個数単位コード
					PK
					AS PER ATTACHE
					SI
					DX CO LTD
					個数単位コード
					PK
					AS PER ATTACHE
					NACCS JAPAN CO
					単位コード
					記号番号
					AS PER ATTACHE
					SHINA JAPAN CO.

- ・ 検索キーによる絞り込みも可能
- ・ 訂正項目や、訂正内容をピックアップ



詳しくは
NACCS
掲示板を
ご覧ください



NACCS協議会へご参加いただき、ありがとうございました。



※この資料の再配布、二次使用はお断りしております